



人間系コロキアム

筑波大学 人間系コロキアム

身体に支えられる言語
—音声言語習得における身体的基盤—

講師：江尻桂子

茨城キリスト教大学 文学部
児童教育学科 教授

生後1年の音声発達における重要な変化は、月齢6～10ヵ月頃に見られる規準喃語(/bababa/など)の出現であるが、これらの発達に、身体運動がどのように関わっているのかを、縦断的観察や実験研究の結果(Ejiri, 1998. Ejiri & Masataka, 2001など)をもとに述べる。これまで、乳児の喃語発達は発語器官の運動によって生じる自己受容感覚と、それに伴う聴覚フィードバックを通して習得されることが強調されてきた。しかし、規準喃語の習得は聴覚-発声系のみには依拠して行われるわけではなく、それに身体的基盤を考える必要性があることを提案したい。

Education
Psychology
Disability Sciences

第11回

2014年
2月26日(水)
15:00～17:00

総合研究棟
A棟 A110
(交流会：2A棟211)

共催

人間学類35周年記念事業

お問い合わせ

人間系研究戦略委員会
(コロキアム運営担当)

✉ research@human.tsukuba.ac.jp